

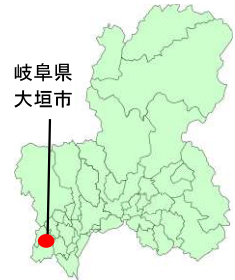
## 時まちづくり活動推進実行委員会（岐阜県大垣市）

「みんなで協力・助け合い、一人一人が輝く地域づくり」を目指して

### ▶ 背景

岐阜県の南西に位置する大垣市時地区は、約8割が山林で中央に水田、集落が点在している中山間地域で、近年は少子高齢化に伴い人口減少が続いている。

平成18年の大垣市への合併を契機にむらづくりを自分たちで行うという機運が高まった結果、地域住民がまとまり、地域資源を活用した取り組みや都市との交流を基本としたむらづくりが始まった。



### ▶ 取組概要

現在、実行委員会は18団体で構成され、行政、JA、小学校、自治会、住民等と連携しながら、イベント、特産品の開発、移住定住の促進など様々な取り組みを行っている。

温泉水（冷泉）を活用したフグの養殖や、地域女性を中心となって地域農産物を活用した商品開発を行うなど、特産品の開発及び販売拡大に取り組んでいる。

地元に伝わる「長範（ちょうはん）みそ」の味と技術を伝承するため地域の高齢者が生産に携わっており、地域の小学生を対象にみそづくり教室を開催するなど食育にも貢献している。

地域の農業者が中心となり「えぼし朝市」を週3回開催し、地域農産物の販売を行っており、新鮮な農産物を求めて多くの人を訪れる。

「時地区移住定住推進委員会」を設立し、空き家の提供、移住後の生活支援相談等に地域一体となって取り組んだ結果、平成25年から令和2年までに25世帯56名が旧上石津町地域へ移住した。

### ▶ 今後の展開

当委員会では、構成する18の活動組織がスローガンである「みんなで協力・助け合い、一人一人が輝く地域づくり」を具現化する多面的・多角的な活動を展開してきた。

今後も地域の高齢者、女性、移住者などの新たな担い手と一体となって、地域資源を活用し、創意工夫を重ねた取り組みの継続と発展をめざす。

### ▶ 写真で見る団体の取り組み



特産品の開発「時の郷クッキー」



「えぼし朝市」での地域農産物の販売



移住者による農産物直売所「あめんぼ」



ふれあい農業体験（サツマイモ掘り）



地元に伝わる「長範みそ」の加工



チェーンソー講習会